

小牧市へ要望書提出 会員商工業者の声を行政へ

10月24日、平成28年度の小牧市への要望書を、成瀬会頭から山下市長(表紙写真)と橋本市議会議長へ手渡しました。



(以下、要望内容)

小牧市におかれましては、日頃から市内産業の振興、市民生活の向上並びに当会議所運営につきまして格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

小牧市におかれましては、平成25年の「小牧市企業新展開支援プログラム」の策定に始まり、本年3月の「小牧市 まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「観光振興基本計画」、7月には商工業を中心に「中小企業振興基本条例」が施行され、小牧市の発展に向けた制度が整備されてきました。

当所としては、小規模事業者に対する支援事業について策定した「経営発達支援計画」が、本年7月に国の認定を受け、「小規模事業者への経営発達支援事業(経営状況分析、経営計画策定・実施支援、市場調査支援、需要開拓支援等)を伴走型で順次推進してまいります。

つきましては、会員の声等を意見集約した「平成29年度施策並びに予算に関する要望」を下記のとおり取りまとめましたので、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

1. 中小企業振興基本条例の推進

小牧市の産業を振興するには、小牧市と小牧商工会議所が互いに主体的な役割を担いつつ、協力し合って推進することが大切と考えます。

平成25年度に要望しました「中小企業振興基本条例」が、ようやく本年7月に施行されました。この条例を策定するうえで「小牧市に中小企業振興条例をつくるための懇談会」や「小牧市中小企業振興基本条例検討委員会」で数多くの議論が積み重ねられた経緯があります。

この条例は理念条例ではありますが、制定して終わりではなく、今後の中小企業振興施策を展開していくうえでのバイブル的存在として活用していくことが大切であります。

7月に施行された中小企業振興基本条例では、第4条で「市は、基本理念にのっとり、社会経済の変化に対応した適切な中小企業振興に関する施策を策定し、及び実施しなければならない。」と記載されております。

従いまして「小牧市企業新展開支援プログラム」での諸施策や諸制度の成果検証を図るとともに、昨年当所が要望して実現に至らなかった「小牧版小規模事業者持続化補助金の新設」や「ISOの更新補助金の継続」なども含めて中小企業が抱える問題点や要望ニーズを把握し、適切な中小企業振興に関する施策が求められます。

そのためにも、基本条例施策過程のように他の中小企業の団体とも連携した定例の協議体を設置され、その協議体を中心に中小企業振興基本条例の理念実現に向けた施策の推進を要望致します。

2. 観光振興基本計画の推進

小牧商工会議所としては、地域経済の振興策として観光事業を重要視して、以前から継続して小牧市に要望をしております。

小牧市では「小牧市観光振興基本計画」の策定

を受けて、指針が示され、各事業者が様々な展開をなされることにより、活性化がなされるものと期待されます。

1) 観光振興基本計画の推進

「小牧市観光振興基本計画」は振興の基本を示されたものであり、具体的にどう団体が進めるかは、小牧市支援による所が大きいと思われます。財政支援はもとより、計画に対する検証と評価の仕組みづくりを確立されるよう要望致します。

2) 小牧発祥!名古屋コーチンの観光推進施策について

小牧市への愛知県種鶏場移転も決まり名古屋コーチンへの関心もますます高まりつつあります。そこで、更なる観光推進施策として、3点を要望致します。

1点目は小牧駅の銅像のアピール強化についてであります。案内表示の音声ガイド(ガイドスマホ対応等)の機能アップや銅像の高さアップ、説明表示版(座らないと読めない)の位置変更を要望致します。



2点目は池之内地内の発祥の地の整備についてであります。現在、発祥の地の看板が設置されていますが、来訪者に分りにくく、駐車スペースもありません。観光資源として重要な地点と考えます。県の種鶏場の移転に伴い、将来的には名古屋コーチン発祥の地として鶏舎や飼育見学可能な観光資源としての活用が考えられますが、まずは、現地までの誘導表示、現地での見やすい案内表示、現地での

の駐車場などの周辺整備を要望致します。



3点目は「名古屋コーチンの日」に合わせた観光推進施策についてであります。

国産実用品種第1号に名古屋コーチンが認定(明治38年)された日に因み、3月10日が日本の記念日「名古屋コーチンの日」に登録認定されました。

愛知県では、今年度より記念日前後に、多くのイベントなどの開催が予定されています。当会議所の名古屋コーチンプロジェクトとしても、名古屋コーチン協会と歩調を合わせ飲食店などを巻き込んだイベントを展開したいと考えております。

小牧市におかれましても、記念日登録認定を契機に「小牧発祥!名古屋コーチン」を小牧市の観光推進施策としてさらに強力に推進されることを要望致します。

3) 田縣神社の「豊年祭の御輿行列(お練り)」の愛知県への無形民俗文化財登録について

田縣神社の「豊年祭の御輿行列(お練り)」は、地元の念願が叶い、今年3月やっとう市の無形民俗文化財に指定されました。喜ばしいことと考えております。

当神社は、国内を問わず、外国人観光客にとっても県内で最も人気のあるスポットとなっております。今後もインバウンドの有益な観光地となっていくと期待されます。

小牧市としても、教育委員会を通じ、地域住民の意をまとめ、県さらには国の無形民俗文化財に登録されるよう活動をしていただくよう要望致します。



3.ピーチライナー撤去後の跡地活用策

平成27年8月5日に愛知県から桃花台線廃止後のインフラ部分につきましては、全面撤去の方針が打ち出され、緊急性の高い「中央自動車道交差部」については今年度中に撤去がされます。残された大部分は、廃線から10年が経過しており、インフラ部分の老朽化が心配されます。県と協議され計画的に早期撤去を要望致します。

高架部分や駅舎の撤去後の跡地の有効活用に向けて着手されるとの事ですが、小牧駅舎の部分については撤去に5年を要すると伺っております。計画づくりに当たっては、メロディーパーク、駅舎、駅西広場、A街区、ラピオと連続する小牧市の顔となる場所です。先を見据えた小牧駅周辺の都市機能アップとなるよう活用されることを要望致します。



4.商業団体への支援

商店街にとって、街路灯の建設・維持管理は不可欠な事業となっております。

現在、街路灯を維持管理できる団体は、市内で13組合となっており、国の施策により26年度・27年度で多くの団体が街路灯の立替をされました。

商店街の街路灯は、ピーク時1,500本超あったわけですが、現在市の助成を受けている街路灯は600本強まで減少しております。

行政の街路灯の建設費用単価は、10年以上見直されておらず、一灯式は一律150,000円とされ、現行各組合が建設しようとする実勢単価との間に大きな開きがあり、建設を進めようとする団体の足かせとなっております。

小牧の商店街(特に小牧市東部商店街振興組合地区や小牧市北里発展会地区)は面的に広いこともあり防犯灯としての役割も果たしており、地域の安全安心面で大切な存在となっております。

補助金の額を見直していただき、商店街の支援を要望致します。

5.ハイウェイオアシス構想の支援

小牧ハイウェイオアシス構想は、小牧市東部地区におけるあらゆる発展の可能性(観光事業・農工商連携・特産物販売・住民の交流)を秘め、小牧市にとっても市民四季の森、温水プールなどとの相乗効果が期待できる魅力的な構想と考えます。

活力ある地域経済の振興を目指す小牧商工会議所にとって、この構想の実現は最重要の課題と考え、組織としても体制を整え、取組む所存です。

つきましては、小牧市のご支援なくしては実現できない構想ですので、以下の2点についてご支援いただきたく要望致します。

- ①市街化調整区域の事業開発許可
- ②スマートインターチェンジ設置の国土交通省への申請